



かぜくも

カラー版はこちら



いわき支援学校
地域支援センター通信 No. 26
R4. 12. 21 発行



響き合う力～寅さんの言葉より

副校長 千葉 秀樹

「人間は何のために生きてんのかな?」「難しいことを聞くなお前は……」

これは、映画「男はつらいよ」第39作『寅次郎物語』の一コマです。寅さんの甥っ子である満男くんが、人生に悩んで発した疑問です。人は、困っているとき、多くの人の意見を聞きたいものです。

さて、ある学校でのケース会議の場面です。Aさんが、授業内容をよく理解してくれないので、どういう方法で授業を進めようかと、学年の先生方で意見の出し合いが始まりました。得意なこと、具体物の提示方法、ICTの活用など建設的な提案が出される中、B先生が「どんな方法だって同じですよ、何をやっても、Aさんには役に立たないですから…」そのような話を耳にし、寅さんの名セリフを思い出しました。

「それをいっちゃおしめいよ。」

そうです。せっかくの話し合い自体が意味をなさなくなってしまうのです。私たち教員は、子供たちにとって何が一番良いかを、様々な人の目線や意見、気付きの中で見つけることが大切です。

地域支援センターは、地域の幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校に在籍する本人や保護者、教職員、その他の関係者の支援ニーズに応えるための活動をしています。学校などへ伺うと、学習上の困難さ、生きづらさを抱えて、学校生活を送っている子どもたちと出会います。その中で、見方をほんの少し変えるだけで、周りの対応が変わり、子供の変容につながるケースがあります。学校間に加え、福祉や医療との連携も課題解決へ向けて大切です。今後も子供たちにとって何が最良かを一緒に考えることができれば幸いです。

冒頭の満男くんの問いに対し、「難しいことを聞くなあ」と言っていた寅さんの答えは、

「何と云うかな、あ一生まれてきてよかった。そう思うことが何べんかあるだろう。そのために生きてんじゃねえのか」

自由を愛した寅さんの、人生に迷う甥っ子への心に響く、一つの答えです。



就学前のお子さんの遊び場 かぜくもひろば

今年度は例年通り6月から、かぜくもひろばを開催しました。新型コロナウイルスの感染予防のため、検温や消毒などの対策を講じて行っております。毎回、様々な遊びや先生方とのかかわりを楽しみました。お集まりでは、歌に合わせてタンブリンを鳴らしてお返事をしてもらいました。みんな上手にタンブリンを鳴らして元気にお返事ができました。パネルシアター「ふしぎなたまご」では、たまごの中から何が出てくるか注目して見たり、前に出てきて先生と一緒にたまごの殻を開けたりと楽しんで見ることができました。ふれあい歌遊び「バスにのって」では、保護者の方の膝の上で音楽に合わせて右に左に体を傾けながら、楽しむことができました。保護者の皆さんからは、「いろいろな遊びを取り入れていただけて楽しそうでした。」「初めてで不安だったが、子どもが楽しそうだったので、よかったです。」等の感想を頂きました。

今年度もかぜくもひろばを楽しみにしながら、毎回、笑顔いっぱい元気いっぱい参加していただきありがとうございます。来年度も子どもたちや保護者の皆様と一緒に、楽しく活動していきたいと思っております。



ミニセミナー

ミニセミナーは、市内の幼・小・中・高等学校の先生方や特別支援教育に関心のある方などを対象とした特別支援教育にかかわる勉強会です。今年度も、感染症拡大に十分留意しながら、全3回実施しました。

9月には、「支援に役立つ福祉との連携」というテーマで、福島県立富岡支援学校の地域支援アドバイザーの門馬栄様を講師に招いて実施し、双葉地域の課題や取り組みについて学んだり、具体的なケースから様々な支援方法を考えたりすることができました。

10月には、「特別な支援を必要とする児童生徒の理解と対応について」というテーマで、いわき市スクールカウンセラーの千葉翔平様から講話をいただき、発達障害の児童生徒の特性から有効な支援のポイントを分かりやすく教えていただきました。

11月には、「特別支援教育コーディネーターの役割」というテーマで、本校教諭の古川英樹教諭が講話を行い、支援までの流れや医療と学校の協働などについて学ぶことができました。

参加者の皆さんからは、様々な感想や積極的な意見をいただきました。今年度寄せられた感想や疑問から、来年度もより充実した勉強会を実施していきたいと思っておりますので、ぜひ申し込みいただき、ご参加ください。



令和4年度

特別支援教育研究会研究セミナー I



感染症対策を講じて今年度も7月29日(金)に、本校を会場として「いわき地区特別支援教育研究会教育セミナーI」を開くことができました。まだまだ、コロナ禍ということもあり、参加者は市内の幼、小・中、高の先生方と特別支援学校の先生方に限らせていただきましたが、午前中の分科会や午後の講演会でも100人を超えるご参加をいただき、久々の盛大なセミナーIとなりました。午前中の8講座の実技講習会(課題別研修会)では、いずれの講座の教室もテーマに沿って真剣な研修がなされていました。午後の講演会では東京学芸大学附属特別支援学校の蓮香美園先生より「特別な支援を要する児童生徒に対する性に関する指導」について、事前質問への回答や具体的な指導方法のお話をいただきました。また、性教育ガイドブックもいただき、講演終了後に要望のあった学校に配付させていただきました。特別支援学級の先生だけでなく、保健室の先生や高等学校の先生からも多数ご要望をいただき配付させていただいたところです。いわき支援学校地域支援センターにご連絡をいただければ今後も随時無料で配付いたしますのでよろしくお願いいたします。

